

# 川崎市洪水ハザードマップ 幸区版



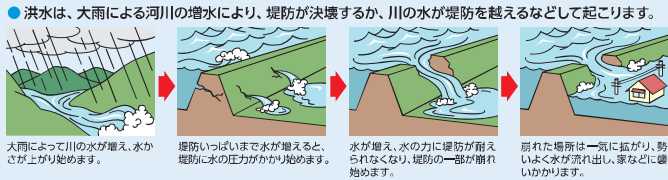
## 「意識と準備が命を守る！」

洪水ハザードマップとは、河川が大雨によって氾濫した場合に、洪水浸水想定区域や避難場所を示したものです。



### 洪水から身をまもる

#### ① 洪水発生メカニズム



#### ② 洪水浸水想定区域の考え方



#### ③ 都市型水害について知る

●大規模な洪水以外にも、都市は舗装された道路や宅地が多く、降った雨は地中に浸透しにくい... (地下への浸水) ●過去に浸水があった所は、大雨のとき、ふたたび浸水するおそれがあります。

#### ④ 洪水からの避難

- 洪水の危険が迫った際には、川崎市から対象の地域に避難を呼びかけます。 ●お住まいの環境によって、適切な避難行動に違いがありますので、右ページの判断フローを参考に、ご自身の避難行動や避難先をあらかじめ検討しておきましょう。

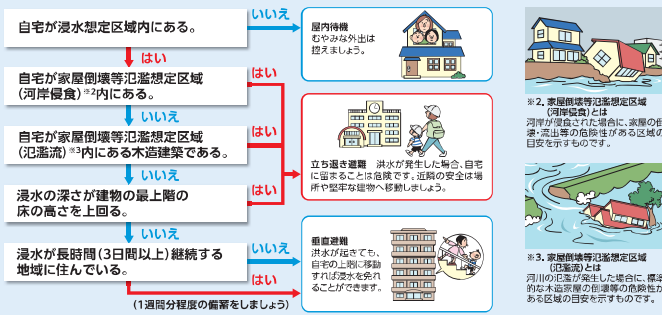
#### ⑤ 避難に関する情報

避難準備・高齢者等避難開始 避難勧告 避難指示(緊急) 避難準備・高齢者等避難開始: お年寄りや身体の不自由な方など、避難に時間を要する方は避難を開始してください。避難指示(緊急): 指示を受けた方は、ただちに避難してください。

#### ⑥ 水位に関する情報

水位	川崎市の対応
氾濫の発生	避難指示(緊急)を発令します。
氾濫危険水位	避難勧告を発令します。
避難判断水位	避難準備・高齢者等避難開始を発令します。
氾濫注意水位	水位情報を注視し、災害に備えます。
水防団待機水位	水位情報を注視し、災害に備えます。

#### ⑦ 状況に応じた避難行動



- ＜屋外に避難するときの注意点＞ 動きやすい服装を心がけ、靴はヒモで締められる運動靴を履くようにする。 ●助け合い(共助) 近くにお住まいの高齢者、障害者、妊婦、幼児、外国人、または旅行者など一人で避難することが難しい方がいます。

### 我が家の防災メモ

ハザードマップを使って我が家の防災メモを完成させましょう！！

#### ① 自宅の災害リスク

- 地図を確認して、該当するところに○印を記入しましょう

	浸水無し	0.5m未満	0.5-3.0m未満	3.0-5.0m未満	5.0-10.0m未満	10.0-20.0m未満
洪水(多摩川水系)						
洪水(鶴見川水系)						
土砂災害警戒区域						

#### ② 避難方法

- 「状況に応じた避難行動」を確認し、避難方法を確認しましょう (洪水からの避難) 屋内待機 垂直避難 立ち退き避難

#### ③ 避難場所と避難経路

- 避難方法が決まったら、避難場所と避難経路を確認しましょう

避難場所1: [ ] 避難場所2: [ ] 避難場所3: [ ] ※避難場所と避難経路はそれぞれ複数決め、必要に応じて地図に書き込みましょう

#### ④ 非常持出品

- 非常持出品の保管場所は、家族のみんなで共有しましょう (保管場所) [ ]

#### ⑤ みんなの約束

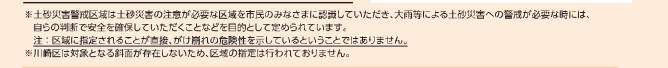
- 家族やご近所での約束事を記入しましょう

家族の約束事: [ ] (ご近所での約束事) [ ] ※避難に支援が必要な方など地域で協力しましょう

### がけ崩れから身をまもる

#### ① 土砂災害警戒区域とは

●「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(通称:土砂災害防止法)」(平成13年施行)に基づき、土砂災害への注意が必要な区域として、一定規模を超える斜面及びこれに接する区域を、神奈川県が「土砂災害警戒区域」に指定しました。 ●土砂災害警戒区域は、土砂災害の種類に合わせて「急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)」「土砂流」「地すべり」に分類され指定されますが、川崎市における土砂災害警戒区域は全て「急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)」に分類されています。



●急傾斜地崩壊危険区域とは、がけ崩れにより相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地と、がけ崩れが助長・誘発されないようするため、切土、盛土など一定の行為を制限する必要がある土地で、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(急傾斜地法)」に基づき神奈川県が指定した区域です。 ●急傾斜地崩壊危険区域の指定基準は、急傾斜地法等により定められています。

#### ② がけ崩れからの避難

- 土砂災害警戒区域の中にあるときに、避難に関する情報が発せられたときには、ただちに安全を確保することが必要です。 ●このとき、天候やご自身の状況により、柔軟に行動を変えることができるよう、次の方法を参考に、適切な避難場所の確保などの準備しておくことが大切です。

#### ③ 避難に関する情報

避難準備・高齢者等避難開始 避難勧告 避難指示(緊急) 避難準備・高齢者等避難開始: お年寄りや身体の不自由な方など、避難に時間を要する方は避難を開始してください。避難指示(緊急): 指示を受けた方は、ただちに避難してください。

#### ④ 雨の降り方と災害発生との関係

1時間雨量	状況	災害発生時のリスク
10-20ミリ	○ザーザーと降る。	○この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。
20-30ミリ	○どしゃ降り。 ○車に乗っているときには、ワイパーを速くしても前方が見づらい。	○側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崩れが始まる。
30-50ミリ	○バケをひっくり返すように降る。 ○車での高速走行時には、ハイドロプレーニング現象が生じブレーキが効かなくなる。	○山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50-80ミリ	○滝のようにゴーゴーと降り続く。 ○これ以上、車の運転は危険。	○都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。 ○マンホールから水が噴出する。 ○土石流が起これやすい。
80ミリ以上	○息苦しくなるような圧迫感がある。 ○恐怖を感じる。	○雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

### 日頃の備え

#### ① 家庭備蓄の充実

- 災害時には、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、出来れば7日間、自宅で過ごせる用意をしましょう。 (飲料水) ●飲料水は1人1日3リットル必要です。 (食料) ●お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものをなるべく多く用意しておきましょう。 (その他) ●カセットコンロ(ボンベも忘れずに)、簡易トイレ(汚物処理袋)などを用意しておきましょう。

#### ② 非常持出品チェックリスト

水・食料	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 携行食・非常食 <input type="checkbox"/> ビスケット・缶詰など
医療・衛生	<input type="checkbox"/> 服用している薬 <input type="checkbox"/> 救急薬品 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・口腔ケア用品 <input type="checkbox"/> 防塵マスク
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証・預金通帳 <input type="checkbox"/> コピー可
安全対策	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 厚底の靴 <input type="checkbox"/> 軍手
道具類	<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> 携帯カイロ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ライター・マッチ <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> ナイフ <input type="checkbox"/> 入れ歯・歯茎など
衣類	<input type="checkbox"/> 上着(防寒着)・下着・靴下 <input type="checkbox"/> 携帯レインコート
生活用品	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・ティッシュ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ゴミ袋・ポリ袋

### ハザードマップの使い方

#### ① 自宅を見つけましょう

自宅に洪水が来ることや、げげ崩れが起こる可能性を確認しましょう。 ほく達の家はここだ わたし達の避難場所はここね

#### ② 安全な避難経路を決めましょう

大雨の時に危険となる水路や橋、アンダーパス、浸水の危険性がある箇所や土砂災害警戒区域などの場所を確認し、避難経路を複数決めましょう。 危険なところは避けていこう

#### ③ 家族で災害時の対応を話し合いましょう

大雨の際の行動について、家族と話し合い、災害時の約束事を決めましょう。 危険なところは避けていこう

#### ④ 我が家の防災メモを完成させましょう

### 風水害時に役立つ情報

#### ① 川崎市防災情報ポータルサイト(川崎市ホームページから)

- 市内の災害に関する緊急情報、被害情報、避難情報などを掲載します。 ●日頃からの備えや、川崎市の防災計画なども紹介しています。 ●外出時の防災対策についてまとめた携帯版の「備える。かわさき」ポータルを紹介しています。 ●過去10年間の浸水実績を公開しています。

#### ② かわさき防災アプリ

- 川崎市の公式アプリのサービス「かわさき防災アプリ」では、災害時の緊急情報や避難情報などをプッシュ通知で受けられるほか、最寄りの避難所や各種ハザードマップを見ることができます。

#### ③ メールニュースかわさき

- 川崎市から、市内の防災、気象、災害等の情報をメールでお知らせします。 ●配信を希望する方は下記のメールアドレス宛に空メールを送信してください。

#### ④ 防災行政無線・防災テレホンサービス

- 防災行政無線とは、屋外にあるスピーカーから、市民の皆様に避難情報や防災気象情報をお知らせするものです。 ●防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます(通常時は啓発放送が流れます)。 0120-910-174(通話料なし)県内一般加入電話、公衆電話及び一部のIP電話から 044-245-8870(通話料あり)携帯電話、PHS、県外一般加入電話・公衆電話から

#### ⑤ 国土交通省 京浜河川事務所 河川の防災ページ

- 多摩川・鶴見川の浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、氾濫シミュレーションを見ることができます。

#### ⑥ 神奈川県 土砂災害情報ポータル

- 川崎市を含む県内の土砂災害警戒区域や、日ごろからの備えを知ることができます。

#### ⑦ その他

- ツイッター(アカウント kawasaki\_bousai)、緊急速報メール、地上デジタル放送、ケーブルテレビ、かわさきFM(79.1MHz)でも、情報を発信します。

#### ⑧ お問い合わせ先

避難に関すること	総務企画局危機管理室	044-200-3682
洪水浸水想定区域等に関すること	幸区役所危機管理担当	044-556-6610
土砂災害警戒区域等に関すること	建設総務局道路河川整備部河川課	044-200-2902
	まちづくり局指導部宅地企画指導課	044-200-3035

#### ⑨ 緊急連絡先

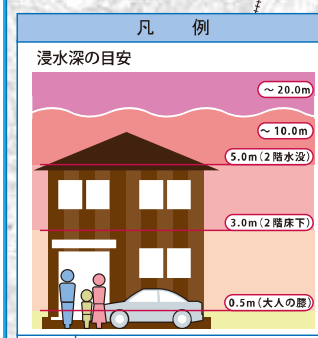
警察署	110
消防署	119



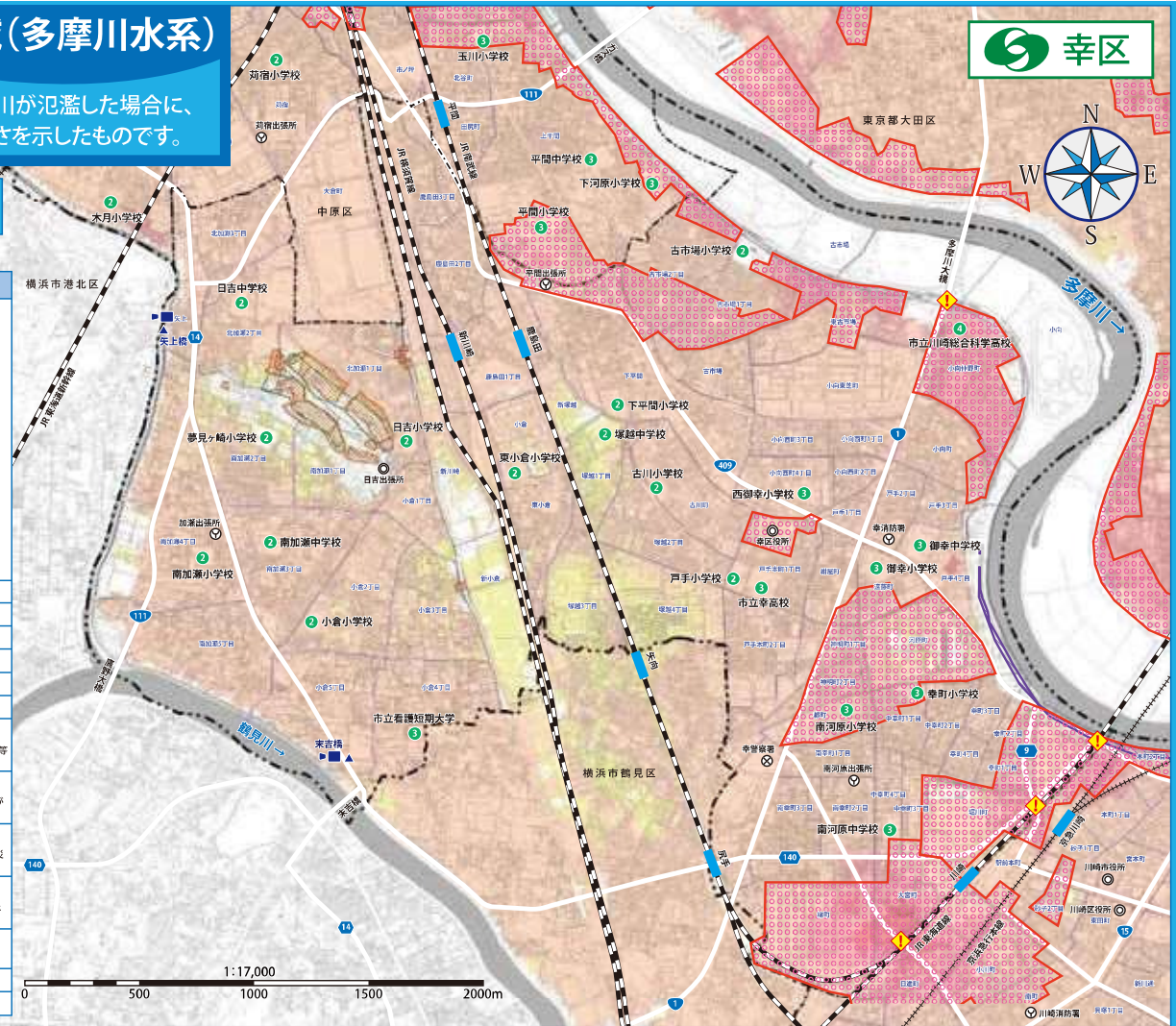
# 洪水浸水想定区域(多摩川水系)

洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲、深さを示したものです。

想定雨量 588mm(2日間)



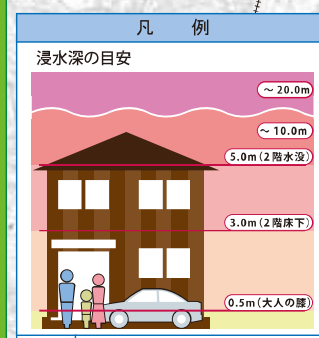
- 避難場所(○内の数字以上の階が使用可能)
- 水位計
- カメラ画像
- 市役所、区役所、支所、出張所
- 消防署・出張所
- 警察署
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- 土砂災害警戒区域(平成29年3月時点)
- 急傾斜崩壊危険区域(平成29年3月時点)
- アンダーパス



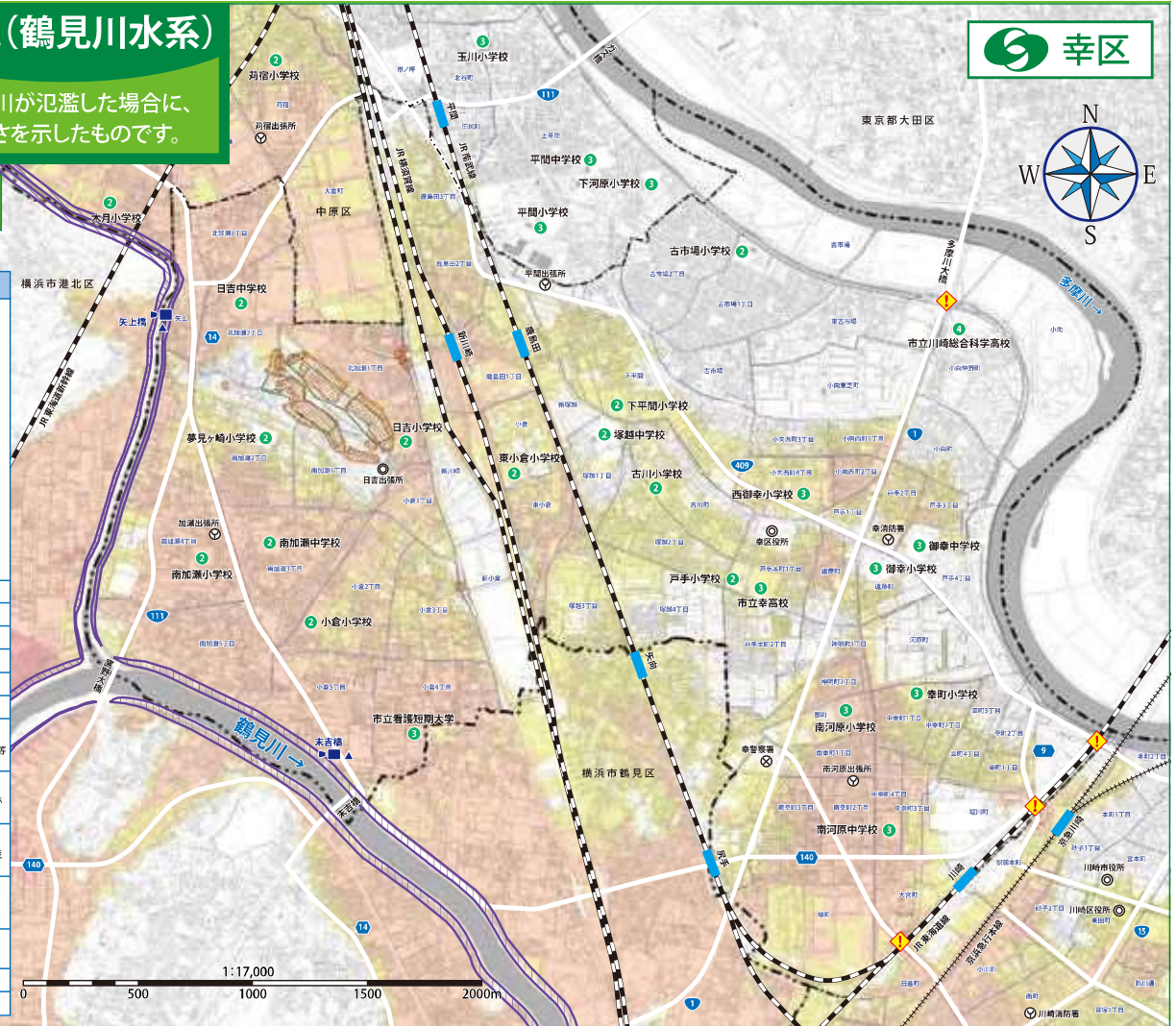
# 洪水浸水想定区域(鶴見川水系)

洪水浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲、深さを示したものです。

想定雨量 792mm(2日間)

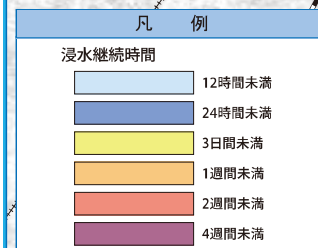


- 避難場所(○内の数字以上の階が使用可能)
- 水位計
- カメラ画像
- 市役所、区役所、支所、出張所
- 消防署・出張所
- 警察署
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- 土砂災害警戒区域(平成29年3月時点)
- 急傾斜崩壊危険区域(平成29年3月時点)
- アンダーパス

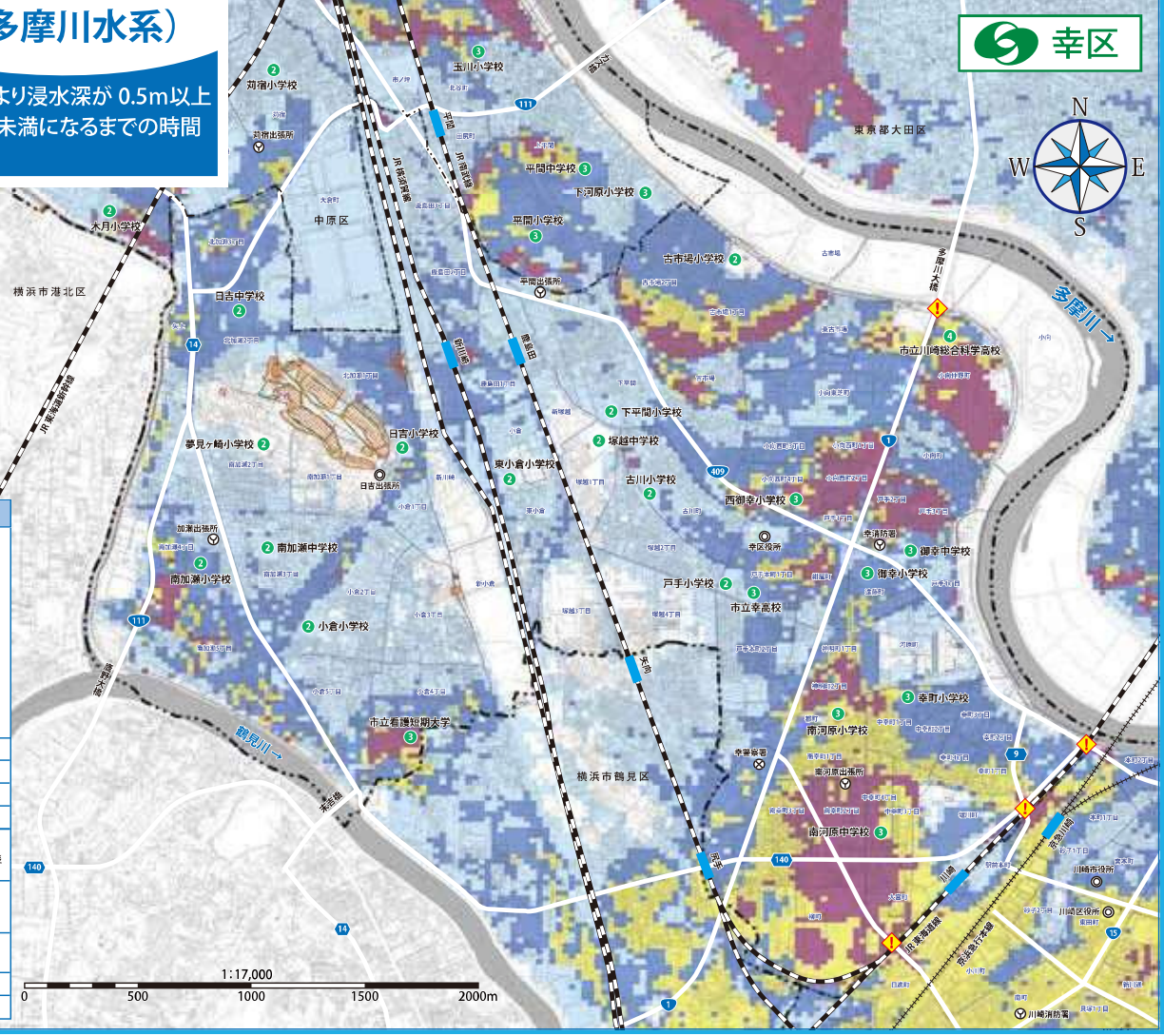


# 浸水継続時間(多摩川水系)

浸水継続時間とは、洪水により浸水深が0.5m以上となってから最終的に0.5m未満になるまでの時間を示したものです。

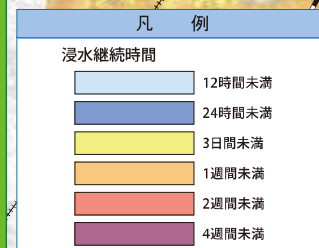


- 避難場所(○内の数字以上の階が使用可能)
- 市役所、区役所、支所、出張所
- 消防署・出張所
- 警察署
- 土砂災害警戒区域(平成29年3月時点)
- 急傾斜崩壊危険区域(平成29年3月時点)
- アンダーパス



# 浸水継続時間(鶴見川水系)

浸水継続時間とは、洪水により浸水深が0.5m以上となってから最終的に0.5m未満になるまでの時間を示したものです。



- 避難場所(○内の数字以上の階が使用可能)
- 市役所、区役所、支所、出張所
- 消防署・出張所
- 警察署
- 土砂災害警戒区域(平成29年3月時点)
- 急傾斜崩壊危険区域(平成29年3月時点)
- アンダーパス

